

サムライ・平和 第20号 立ち読み

グレース公妃没後四十年記念

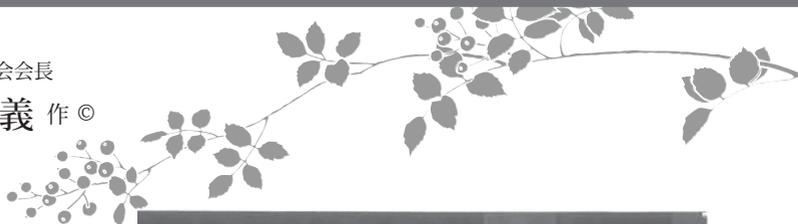
新作能

グレース・ケリー

国際融合文化学会会長 宗片邦義 作

国際融合文化学会会長

宗片邦義 作 ©



上杉鷹山没後二百年記念  
現代文詞章による

新作能

上杉鷹山

グレース公妃没後四十年記念

新作能

グレース・ケリー



『英語能ハムレット』独演、  
宗片邦義、杉並能楽堂、2010年4月  
*Noh Hamlet Solo Performance:*  
Kuniyoshi MUNAKATA at Suginami Noh  
Theatre, Tokyo, April, 2010.



# 新作能 グレース・ケリー

むなかたくによし  
宗片邦義作 (2022.03) ©

## 〔構想〕

日本の能研究家が、モナコのグレース・ケリー劇場で『英語能ハムレット』を披露する。舞台上で彼がオフィリアの墓前に坐禅し瞑想していると、モナコ公妃グレース・ケリーの霊が現れる。二〇二二年、グレース公妃没後四十年を記念し制作する。

## 人物

シテ……グレース・ケリー（モナコ公妃）の霊

ツレ……日本の能研究家

ワキ……グレース・ケリー劇場支配人

地謡（三・四名）

囃子（笛・小鼓・大鼓・太鼓）

「囃子ナシテ、ワキ登場」

ワキ<sup>詞</sup>

「この劇場の、支配人でございます。このグレース公妃劇場、と申すは。

舞台芸術をこよなく愛された、公妃ご自身が。古い劇場を改装、命名されたものですが。ご自身は存分に公演、なさることなく。劇場完成の翌、一九八二年に。思いもよらぬ交通事故にて亡くなられ。わずか五十二年の生涯にて、誠に悲しく残念な事でございます。亡くなられる二月前ふたつきのインタヴューで、「慎ましく、思いやりのある人間だったと、多くの人に記憶されたい」とのお言葉が、忘れられません。誠にその、誠実なるお人柄により。公妃がわがモナコのために果たされたるは政治経済外交、環境問題。さらに慈善活動や「モナコ赤十字社」創設と、実に計り知れません

それ以前は、ハリウッド女優として。その、気品あふれる美しさは。特にヒッチコック監督との数々の、映画にて。世界中のファンを、魅了されました。そして一九五四年の映画、『喝采』かつさいにて。アカデミー、主演女優賞に輝かれ。その翌年、カンヌ映画祭に招かれ。そこでわが公国のレニエ・グリマルディ大公と、運命の出会いをなされ。かくてモナコ公妃に迎えられたという次第に、ございました。

さて、本日は。英国はシェイクスピアの名作悲劇、『ハムレット』を。日本の能、翻案にてお目にかけます。公妃ご自身一度日本を、訪問されたことがあります。靈魂を尊ぶ日本の、精神文化に。深く、感銘されたとのこと。また公妃は舞台女優としての夢を、最後までお持ちのようでした。ごさいました。

それではこれより、一時間余り。どうぞ、ごゆっくりとご鑑賞くださいませ

「入ル

「後見、亡キオフィーリアヲ表ス小袖ヲ、舞台正先ニ

丁寧ニ広ゲル」

「登場ノ囃子短ク。ハムレット橋掛リニ現レル。

囃子静マル」

次第  
ツレ

「生くるか死ぬるかこの命。生くるか死ぬるかこの命。

生一死の道に迷ふなり 「二ノ松辺リマデ進ミ」

「いずれか気高き運命の矢弾に耐へて生き抜くか。

苦難の海に立ち向かひその息の根をとどめんか

「死ぬるとは。心の悩みも肉体の患ひもすべて断ち切れる。この上もなき最期なれ

「舞台二入り」

下歌・拍合  
地